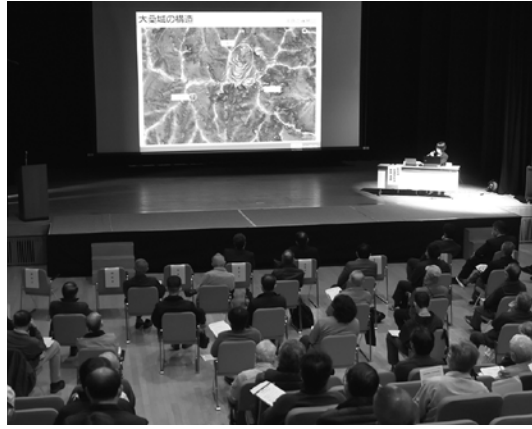


令和4年度 大桑城跡発掘調査報告会開催



3月18日、花咲きホールで、令和4年度大桑城跡発掘調査報告会を開催し、市内外から約100人が参加しました。

報告会では、岐阜市文化財保護課主幹・大桑城跡調査検討委員会副委員長の内堀信雄さんによる特別講演「発掘成果にみる大桑城の特徴」石垣・庭・出土品」や市教育委員会による発掘調査成果の報告が行われました。

参加者は、発掘調査の成果から分かったことなどを熱心に聞き、大桑城跡の魅力を知る良い機会となりました。

春の女神をみつけよう

ギフチョウ観察会

4月8日、四国山香りの森公園・香りドームで、ギフチョウ観察会を行い、市内外から約100人が参加しました。

当日は名和昆虫博物館の名和哲夫館長を講師に迎え、講話を聞いた後、公園内の散策路沿いでギフチョウを探索しました。山の中腹では、麓に向かって羽ばたくギフチョウが見られました。

参加者は「ギフチョウが思ったよりも速く飛んでびっくりした」と目を丸くしていました。



木のぬくもりを感じて

保育園木質化製品お披露目会



4月11日、大桜保育園で、木製のロッカー、下足入れのお披露目会を行いました。

この事業は、加藤精工株式会社からいただいた寄附と森林環境譲与税を活用して、大桜保育園、梅原保育園、みやま保育園のロッカーと下足入れを木質化したものです。

当日は、木製品のお披露目をした後、園児が感謝の歌を披露しました。

園児は「木がつるつるしていて気持ちいい」と木製のロッカーを触りながらうれしそうに話しました。

FC岐阜の横山智也選手が 等身大パネルを設置

4月21日、山県市出身のFC岐阜横山智也選手が自身の等身大パネル設置のため、市役所を訪れました。

横山選手は今シーズンからFC岐阜に加入し、当市のホームタウン応援大使を務めています。昨年度からFC岐阜が応援大使の等身大パネルの設置を各市町村で始めており、大使を務める山県市の出身という縁で選手本人が設置しました。パネルには横山選手の直筆サインがあり、横山選手を身近に感じることができ、横山選手の今後の活躍が楽しみです。



大桑城跡PR動画
配信中心!

イメージ動画



市では、大桑城跡の魅力を広く周知するPR動画を配信しています。

内容は、四季折々の情景やハイキングなど、大桑城跡の楽しみ方をまとめた「イメージ動画」、大の城好きとして知られる落語家の春風亭昇太師匠が、大桑城跡の特徴的な遺構などを市の文化財担当者と一緒に解説する「見どころ紹介動画」です。現地では「見どころ紹介動画」を視聴できる2次元コードを設置しています。今から約500年前の戦国時代の大桑城をぜひ感じてみてください。

富岡小150周年記念事業
新木詩乃さん陸上教室

5月2日、富岡小学校で、同校出身のアスリート新木詩乃さんによる陸上教室を開催し、富岡小学校児童約300人が参加しました。

新木さんは国体や高校総体で活躍した経歴を持ち、現在は小島プレス工業の陸上競技部に所属しています。教室では、走るときの正しい姿勢や決められた位置に踏み込んで走ることを学び、最後には新木さんと代表児童が短距離走で勝負しました。

児童は「今日学んだことを意識して走りたい」と話しました。

令和5年度
山県市消防団入団式

3月26日、美山中央公民館で、令和5年度山県市消防団入団式が行われました。式典では藤根団長から、小山副団長や就任された分団役員、新入団員に対して辞令を交付し、新入団員を代表し第10分団の三島団員が新入団員宣誓を行いました。団員は、市長の式辞や団長の訓示を受け、より一層防火・防災に対する意識を高めました。

山県市立保育園
民間移管に関する協定締結式

3月28日、市役所公室で、山県市立保育園民間移管に関する協定締結式を行いました。

この協定により、4月1日から、高富保育園が社会福祉法人同朋会へ、富岡保育園が学校法人春日学園へ移管され、各法人による保育園の運営が始まりました。

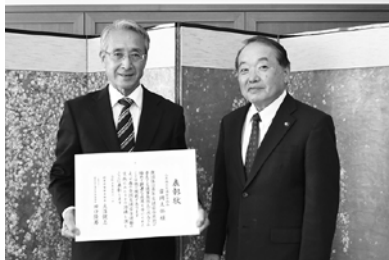
同朋会の井上悟理事長は「子どもの主体性を大切にして心豊かでたくましい子どもを育てるために尽力したい」と話し、春日学園の春日晃章理事長は「山県市で子育てをしたくなるような保育を提供したい」と話しました。

高齢者叙勲で神山武さんが
瑞宝双光章受章

市内在住で元公立小学校校長の神山武さんが、高齢者叙勲により瑞宝双光章を受章され、3月28日に教育長から受章伝達を行いました。

神山さんは、昭和32年4月に加茂郡東白川村立越原小学校に赴任された後、岐阜市や郡上郡の教諭として勤務され、平成7年3月に岐阜市の小学校長を退職されるまで、誠実に子どもたちの教育や学校経営に取り組み、県内教育の振興に貢献されました。

交通安全協会富岡支部が 交通安全功労者表彰受賞



5月11日、山県地区交通安全協会富岡支部が、岐阜県交通安全対策協議会の交通安全功労者表彰団体連名賞を受賞し、井尾利夫支部長が受賞報告のため市長を表敬訪問しました。

同支部は、小学校と連携して毎日登下校中の児童を引率するなどの活動が、地域の交通事故防止や交通安全の意識向上に貢献していると認められ受賞しました。井尾支部長は「交通事故のない暮らしを目指して活動を続けたい」と話しました。

信田智恵さん 100歳を迎える



4月10日、信田智恵さんが100歳の誕生日を迎えました。信田さんはとても器用で、以前は布のブローチ作りや毛糸のセーターを編むなど、裁縫を楽しんでいました。

長寿の秘けつは「手先と頭を使うこと」で、最近ではクイズやクロスワードパズルがお好きとのこと。現在はデイサービスに週2回通い、「仲の良い友人とおしゃべりする時間が楽しい」と話しました。

今年で8回目 イクボス宣言式



4月4日、市役所公室で、今年度新たに幹部となった市職員と市内小学校長が、働きやすい職場づくりを目指すため、イクボス宣言式を行いました。

この宣言式は、平成28年7月から行っており、今年で8回目です。

引き続きノー残業デーやワーク・ライフ・バランス推進デーの設定、夏休み中の日直を置かない学校閉庁日を設けるなどの取り組みを行い、勤務時間の削減を図ることで働きやすい環境づくりを進めます。



16
ミニ大桑城

一連載 わがまちの 歴史再発見

市内には先人から受け継がれてきた貴重な歴史資産が多くあります。わがまちの身近な歴史を再発見し、未来へつないでいきましよう。

関生涯学習課文化財調査室 TEL 32-9008

戦国時代、美濃国守護土岐氏の居城があった大桑城跡の山頂には、高さ4mほどの小さなお城があります。現在、写真スポットとしても人気のこのお城は、どのようにしてつくられたのでしょうか。

ミニ大桑城は、昭和61年から昭和63年の間に、地元の方が中心となってつくられたものです。

実は、現在のミニ大桑城がつくられる前に、丸太とトタンでつくられたミニ大桑城があったそうです。

この初代ミニ大桑城が倒壊したことが、現在あるミニ大桑城をつくるきっかけになったとも伝えられています。

昭和61年に、まず、城の基礎に使うコンクリートブロックが山頂まで運ばれ、翌年には、砂が運ばれ、お城の基礎工事が行われました。そして、63年には、城の本体がヘリコプターで山頂まで運ばれ、ついにミニ大桑城が完成したそうです。

戦国時代当時、天守があったかは分かりませんが、大桑城を大切に思う地域の人たちによってつくられたこの小さなシンボルは、今も訪れる人たちの心をつかんでいます。